



市の花・つつじ 市の木・もくせい 市の鳥・ジュウカ

今号の主な内容	市職員などの募集	2面
	防災訓練に参加を	3面
	安全安心まちづくり市民ひろばメンバー募集	4面
	小学生向け体験学習	6面
	体育館中期スポーツ教室	7面
	多摩川カップまつり	8面

発行/福生市 編集/企画財政部秘書広報課 〒197-8501 福生市本町5 ☎042-551-1511 (市役所代表)

福生市のホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

市役所は8月6日(土)七夕期間中のため開庁しません問合せ企画調整課企画調整担当

ご参加ください 平和のつどい

「市民が語る戦後の福生(昭和20年代)パートIV」

日時8月14日(日)午後1時開場

午後1時30分開演

場所さくら会館3階ホール※入場無料

問合せ総務部総務課庶務係

昨年司会を務めていただいた坂本さんをはじめ、発言者として登場していただいた皆さんに企画、司会等を務めていただきます。

■青柳福治さん

昭和20年米空軍立川基地に就職後、基地の統合により横田基地に移り、計38年4か月間基地に勤務。

■坂本丁次さん

東京新聞福生通信部記者。

■山崎茂男さん

福生珠算学校長。塾の月報「ふっさっ子」は、それぞれの時代の世相と文化を記録した資料として貴重であり、単行本となった後、イギリス・オックスフォード大学図書館に所蔵されている。

■原嶋卓美さん

衆議院議員秘書、外交評論家秘書を務めた後、平成17年3月まで短期大学講師。



現在の永田橋付近には渡船場があったが、昭和初期には渡し舟は姿を消し、木造橋による渡船代金の徴収に変わり、昭和24年永田橋の架設によって、使命を終えた。昭和15年 中央の少年が高崎さん(郷土資料室「写真で見る福生の100年」より)

■テーマ 戦中・戦後の女教師体験

講演者 亀田孝子さん

終戦の年の4月、17歳で福生第一国民学校の教師に。ほどなく学校の校舎ではなく、決戦学校と名づけられた隣組での授業となりました。空襲があれば、防空壕に飛び込む、そんな時代でしたが、子どもたちはちょっとしたことでも皆で助け合っていたそうです。戦後は二小に移り、教師が少なく、1クラス65人、満杯状態で授業を行いました。当時の学校の様子や働く女性が少なかった時代の苦労話などもお話しされます。

市は、平和祈念事業として「平和のつどい」を開催しています。改めて平和の尊さを見つめなおそうとする催しです。ぜひお誘いあわせのうえ、お気軽においでください。

今年は3人の市民の方に戦中・戦後の生活などについてお話をさせていただきます。

■テーマ 多摩川の思い出

講演者 高崎勇作さん

終戦の年は福生第一国民学校の6年生でした。8月1日のお祭りの日、みこしを担いでいるうちに日射病になってしまった高崎さんは、民家も標的になる恐れがあると、多摩川の河原に敷かれた布団で休みました。その夜、八王子大空襲があり、2週間後に終戦を迎えました。

多摩川の近くで育った高崎さんからは、当時多摩川にいた生き物や、渡して出会った印象深い人物のお話も伺えます。



男性教師は徴兵され、少なかった昭和20年ころ 福生第一国民学校 前列左端が亀田さん(亀田孝子氏所蔵)

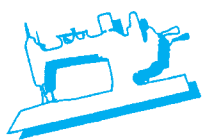
2面にも昭和20年代の写真を掲載しています。

■テーマ ガキ大将 講演者 木村輝幸さん

当時の小学生は3年生くらいから高学年まで混ざり合って、多摩川で泳いだり、米軍の捨てた野球道具を使って野球をしていたそうです。川で泳ぐときは、下級生が流されないよう気を配りながら泳ぎを教えたり、お祭りをしきるのも5・6年生でした。いたずらもしたけれど、上級生が下級生の面倒をよく見ていたそうです。何もない中で自分たちなりの遊び方を見つけていました。



終戦後の子どもたち 昭和21年・熊川(郷土資料室所蔵)



きんもくせい



福生市長野澤久人

昨年の七夕にて

七夕が55回目を迎えました。今年は、福生市の35周年の年でもあります。

七夕は昭和26年から始まり、その間、福生は昭和45年に市になりました。

戦後復興のさなかの時期から連綿と続いてきた七夕の歴史は、町から市へと激動する福生を象徴し、代表する「福の生まれる星まつり」です。

七夕を始めた頃から今日まで多くの市民が、それを支えてきました。最近では、露天商の店から市民模擬店への変化、飾り付け部会、イベント部会等多くの皆さんが、自分たちで七夕を創ってくださっています。その中心に大勢の若者がいます。

外からは余り見えないかもしれないかもしれませんが、飾りの一つひとつに、イベントに、模擬店に自主的に参加した部会員の皆さんが様々な工夫して係わっておられます。昨年の反省会から当日まで、福生を代表する七夕を創ろう、そして来市された皆様に喜んでいただく努力をしています。暑いさなか大変ですが、今年も頑張ってください。

どうか皆さん、応援し、協力ください。